

2023 年度（令和 5 年度）

外部評価結果

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念の掲示を行い職員間で共有出来ている。毎月ユニットカンファレンスにて、1か月の理念の実践についての反省会を行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入している。運営推進会議で頂いた情報や回覧板での情報を活用し、地域の防災訓練、地区清掃、行事などにコロナ以前は参加ができていた。また施設での秋祭りも開催していたが、コロナ以降中止している。	地区清掃に参加できた。今後も積極的に参加していきたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は、2ヶ月に1度の開催予定でコロナにより中止することもあった。運営状況、活動状況の報告、年間の事故報告、事例検討会、にこやかハウスでの取り組みについての内容等を報告させて頂いている。	昨年度はコロナで2月に中止。その他は行えた。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者、包括支援センターに運営推進会議の開催のお知らせ、前回の報告書を持参か郵送している。運営推進会議等で、地域の状況等を情報収集させて頂いている。また市の担当者には、施設で疑問点があれば、連絡相談させて頂いている。	包括さんからは「しっかりできている印象です」と評価して頂けた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束0宣言を行っている。施設は休日、夜間帯を除き、玄関等の施錠は行っていない。身体拘束防止委員会を立ち上げた。また、身体拘束検討委員会を定期で行い、研修も年に2度、行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に関する委員会の立ち上げを行う。定期的に他施設等で起こった事例について、検討する。また年に1度、研修会を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様から相談があった場合、必要と判断した場合には、相談できる体制を整えている。年に1度全体研修にて勉強会を行っている。また資料をそろえている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居相談があった時点で、施設での不安点、疑問点等は丁寧に説明している。契約時にも、わかりやすく説明をして同意が得られている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年家族会を開催しその中で、ご意見を伺っていたが、コロナ禍で開催を控え、今年度はアンケートを作成し、意見ご要望を伺う機会を作った。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族会についてはコロナも収束してきたが本年度は開催を控え来年度は行いたいと考えている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のユニットカンファ、全体研修にて職員と管理者との意見交換の場となっている。また、管理者は勤務にも入っているため、常に提案や相談を受けることができる体制をとっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勤務状況の確認、働きやすい職場にするための環境、条件等は管理者等が聞き取りを行ってうえで、本部の職員が対応してくれている。正社員希望者には面談も随時行ってくれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、フィードバックを個別に行い職員の意見の聞き取りを行っている。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、会社内で行う実務者研修、新人研修、社外で行う外部研修、初任者研修、管理者研修、認知症実践者研修等に積極的に参加するよう機会を設けてくれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	長田地区地域密着会議に参加し、情報共有の場になっている。また地区で行われる研修会や行事などにも参加している。昨年度は行っていない。			ここ数年は開催されていなかったが開催されたら積極的に参加したいと考えている。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、共同生活の場であること常に意識し、共に家事活動を行い、散歩に行き季節を感じる、悲しみや喜びも共にして生活できている。職員も子育ての相談事や、うれしかったこと等も、一緒に共有できている。			洗濯ものを畳んだり食器を拭いたり相談事をしたりニュースを共感したり家族の様に助け合って生活することを心掛けている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、面会規制があったが徐々に友達や親類などとも会えるようになってきている。必要があればご家族様とも電話で話すこともある。	コロナ禍の為その時々々の制限条件に沿ってご家族、ご友人と会えていた。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式 B2,B3 を家族、本人より、記入もしくは聞き取りを行う。日々の行動、発言から思いをくみ取る努力をしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中から本人が何を望んでいるのかアセスメント・また家族より聞き取りを行う。ケースカンファレンスで話し合いケアプランを作成。月1回のモニタリング、短期目標ごとの担当者会議の開催を行っている。	月に1回のカンファレンスでケアプランの見直しを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経過記録に個々の気づきを入力。カンファレンスにて話し合いができている。記録等も、ケアプランの見直しの材料となっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	変化があったときは申し送りをして職員間で情報共有出来ている。毎月のカンファレンスで話し合いケアの見直しに役立っている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の要望や希望に柔軟に対応している。本人の状態に合わせた役割、体操を取り入れている。またご家族様の状況に合わせて、受診付き添いや、外出支援等も行っている。	入居者様お一人お一人に合った対応をしている。受診には介護タクシーを利用して		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	シニアサポーターの利用やグリーンバンクを利用している。コロナ禍前には、地域の商店街や、コンビニエンスストア、公園等にも出かける事ができていた。	シニアサポーターは今後利用していく。グリーンバンクのお花を入居者様と一緒に植え育てている。		コロナ禍により制限されることはあったが、出来ることから再開して行きたいと考えている。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望により、主治医を決めている。往診医とは24時間連絡がつくようになっている。緊急時や、体調不良時にはいつでも診察してもらえる環境が整っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時や受診時はできる限り付き添い、情報共有している。また、付き添い時には名刺をお渡しし、電話等の対応もしている。退院時は、アセスメントに出かけ、今後の生活について、医師や看護師と話し合いを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化については入居契約の時にまず話をさせて頂いている。重度化した時には、これからの生活について本人、家族、医師、看護師と共に方針を情報共有している。自宅に一度は帰りたいたいと言う、要望などに応えられるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故発生時、緊急時マニュアルを整備している。研修でも行っている。緊急時で実際にあったことを申し送りで伝えている。緊急時は主治医の指示に従っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご近所の方々、大家さんには協力依頼をしている。年に2回は防災訓練を行っている。外に出る訓練、垂直移動訓練等を行っている。	大雨で横の道が冠水した時にご近所の方が夜中に心配して声を掛けて下さった。協力体制はとれている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉がけには常に気を付けている、カンファレンスでも、言葉遣いの研修を行っている。また、排泄時や入浴時にプライバシーに配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日課は決まっているが、天気の良い日には、園芸作業を行ったり、桜の時期には長距離の散歩に行ったり、手づくりおやつを作ったりしている。それぞれのご希望を伺っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒にできる方は限られてはいるが、洗ったり、切ったり炒めたりを一緒に行っている。毎日の食事のコメントを聞き取り、次回の調理に生かしている。洗い物や、食器拭き等を一緒に行っている。		A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は体調や体格に合わせ、医師に相談し決めている。食事は栄養士が作ったメニューを職員が作り提供している。毎日の水分量もそれぞれ好まれる物を提供し、量も確保できている。食事量、水分量の記録がデータで管理されている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中での汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行っている。自分でできるところは自分で行って頂きできない最終仕上げを職員が行う。夜間はポリドントにつけている。歯科往診をされている方は歯科医の指示に従っている。		A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの排泄パターンをつかみ、その方にあった時間で対応しています。テープ止めは極力使用せず、トイレに座る支援をしています。便秘予防ため、冷たい牛乳を提供し便秘予防の体操も行っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	15:00~16:30 までと時間を作って。ご本人のご希望に沿った温度、入浴剤も使用しています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間、不眠の方には、日中の活動量のアップを図っている。体調に合わせ、休息時間を設けている。夕方から夜間にかけてはクールダウンの時間とし、朗読会を行い、落ち着いた音楽を流すなどリラックスした時間を過ごして頂いている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診には薬剤師が立ち合い。お薬の変更時には本人、家族にも情報をお伝えしている。職員は薬剤情報を確認し内服してもらっている。内服後には変化がないか、記録と共に申し送りを行っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体操の声掛け、カレンダーめくり等、できる役割、得意なことを役割として頂いている。テイクアウトの日を設定しているため、好きな食べ物をリクエストしてもらっている。気分転換に園芸活動を行ったり、花見に出かけたりしている。特に、散歩は雨が降らない限り毎日行っている。	去年はコロナ禍で制限があったので難しかったが現在はご家族様との外出(食事なし)も出来ている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により実行できていない。以前は、買い物や、自宅外出、食事外出等ができていた。現在は、マスク着用にて、近所の散歩のみ。	コロナ禍により外食、外出などは難しかった為マスク着用で近所の散歩のみ継続していた。		
37	お金の所持や使うこととの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍前は、ご自分で所有しているお財布を持ち、コンビニや雑貨店に買い物に出かけていたが、現在は、買い物支援ができず、お財布を持っているだけになっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望があれば、電話を掛けたり、手紙を出したりの支援を行っている。現在は家族の希望にて電話やオンラインなど行っている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内はバリアフリーになっている。できる限り家庭に近い環境で、テレビ、ソファ等を配置。季節に合った、飾り物、壁飾り、音や光、窓からの風を感じている。居室で静かに休みたい方は居室で、フロアで人の声を聴いて安心される方は、フロアで過ごされている。毎日フロアは掃除され、居室については週2回清掃に入っている。布団も週1回は干すことができている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
----	---------------	--	--	---	--	--	--

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の発言の中から、本人が思っている事を聞き取り、今はどうされたいかを確認し、意向に沿った支援をしている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B2,B3、家族や本人からの情報をもとに、本人にあった支援をさせて頂いている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診を月に2回、看護師による健康観察を週に1回受ける事ができている。施設内では、職員が見守れる体制をとっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ねの時間は共同のため、決まっているは、その方にあった生活スタイルで起きる時間、就寝時間を決めている。また日中の体調に合わせて臥床時間や休息時間を設けている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	CD や写真、仏壇、椅子や筆筒、なじみの物を持ち込んで頂いている。洋服も自分で選び持ち込んでくださっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前は行うことができていた。現在は、外に出たい(散歩)方には、行うことができています。	昨年はいざいざ態が行われていないことや制限があり出来ていないが散歩で外気に触れて頂いていた。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B2, B3、家族からの情報、本人の発する言葉を頼りに、好きなこと、施設での役割を行っていただいている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔取った杵柄。料理は得意な方には料理を、洗濯や洗いが得意な人にはその役割を。毎日の共同生活の中で、得意なことを行って頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の前は地域で行う、行事(まりこまつりや宿場祭りに参加させて頂いていた。できる方は、しめ縄づくりや清掃活動にも参加し交流することができていた。	散歩の途中で近所の方や小学生とあいさつを交わすことくらいしかできなかった。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭に近い環境で共同生活を送り、できる事は自分で行う、散歩に行き、体で季節を感じ、地域の方々と挨拶をかわし、食事作りやおやつ作りで、においを感じ、常に誰職員に見守られている安心を感じられている。	そうであってほしいとの思いを常に職員が持ち日々の生活支援を行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

【事業所概要】

事業所番号 2294200395
法人名 有限会社 生陽会
事業所名 にこやかハウス
所在地 静岡県静岡市駿河区丸子6-5-18
自己評価作成開始日 2023.6.21 評価して頂いた方々
運営推進会議にて（民生委員会長、社会福祉協議会会員、街づくり協議会副会長、地域包括
介護支援専門員、入居者様、ご家族様、管理者）

基本情報URL <https://www.ikiyo.co.jp/nikoyakahouse>

(参考様式4)

事業所名 にこやかハウス

作成日: 令和 4年 3月 18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	34	職員が入居者様の服用されているお薬について目的、用法容量、錠数などを理解したうえで服薬介助を行う。	入居者様の状態を把握し、服用されているお薬の効能、目的を理解し、症状の変化を観察できる様にする。	カンファレンスなどで薬の理解を深める。 3ヶ月
2	35	コロナ過で外出が出来ない中、日々の生活の中で張り合いや喜びを見つけ出し気分転換をして頂く。	入居者様の生活歴や現状を踏まえ楽しめることや張り合いを見つけ出す。	コロナ過でも行えることを提案し合い、それぞれの入居者様にあった楽しみや張り合いを見出す。 6ヶ月
			34の反省	理解は出来ているが往診で服薬の変更などもあるため、その都度確認し、間違いのないよう今後も継続して取り組む。 ヶ月
			35の反省	コロナが5類化されたが、高齢者施設ではまだ制限されることもあるので、出来る範囲での楽しみを提案し気分転換に繋がるよう工夫していきたい。 ヶ月
				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(参考様式4)

事業所名 にこやかハウス

作成日: 令和 5年9月1日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	34	往診で服薬の変更があっても、間違いのない様に服薬介助を行う。	用法・容量・副作用・服薬目的を理解して、正確に服薬介助を行う。	・担当入居者様の服用しているお薬の内容を理解し把握する。・介助時は服薬シートを読み上げ、服薬時間、錠数、氏名の確認を必ず職員同士で行う。 6ヶ月
2	28	何らかの形で食事の準備や後片付けに参加していただく。	食事の支度、食事、片づけをみんなでを行い食事を楽しいものと感じていただく。	その人に合ったお手伝いを考え支度や片づけを楽しんで行って頂ける様支援する。 6ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。